

標 題：

英文鋼船規則B編の一部改正について
(定期検査の間隔)
(バラストタンクの内部検査)

NK テクニカル インフォメーション

No. 94

平成3年6月25日

関係船主、造船所 各位

拝啓 貴社ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、弊会はIACS（国際船級協会連合）で採択されました「船体及び機関の船級検査に関する統一規則（Unified Requirement Z7）」を取り入れ、英文鋼船規則B編及び同検査要領の一部を改め、来る平成3年7月1日から施行することといたしました。

このIACSの統一規則は、かねてよりIACS内部で検討が行われてまいりました衰耗、腐食等に起因する船体損傷に関する調査の結果に基づきまとめられたものであり、併せて、定期的検査の時期及び検査の要件についても見直しが行われています。

このIACSの統一規則の採択により、定期的検査の時期及び検査の要件に関しましては、IACSメンバー協会間でほとんどの項目が統一されることになると考えられます。

また、実施時期につきましても本年7月1日からの実施がIACSメンバー協会間で合意されています。

なお、この改正は、日本籍船舶以外の船舶を対象としております。日本籍船舶に対しては、現行の制度のままで同等と認められますので、この改正は適用いたしません。

改正概要は、次の通りです。

1. 定期検査

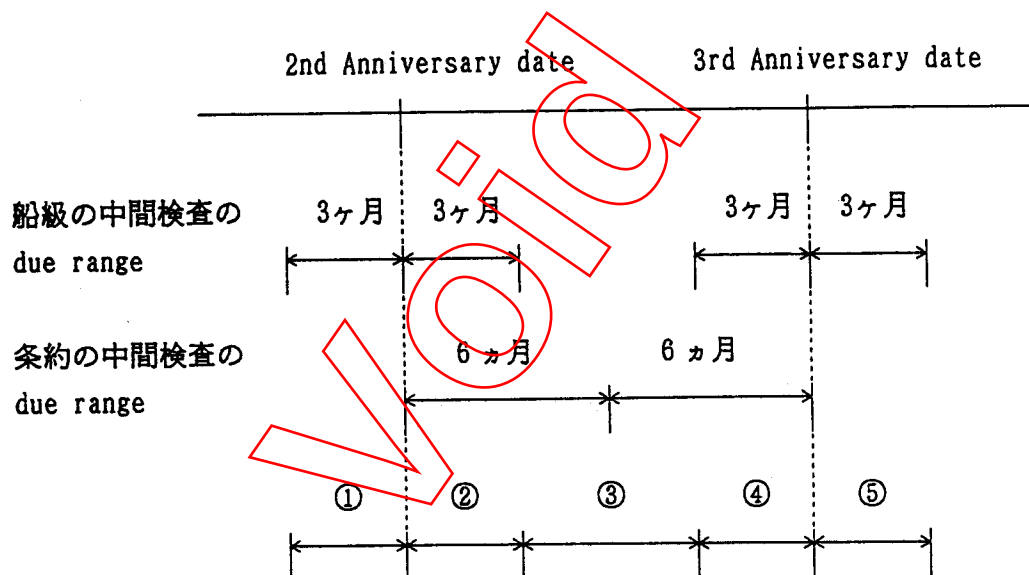
従来、定期検査の間隔を4年とし"year of grace"により実質5年に延長できる制度をとっていましたが、今回の改正により定期検査の間隔そのものが5年となります。よって、従来のように登録検査又は定期検査の完了日を基準とし4年目の期日迄に定期検査のCommencement又はExtension Surveyを受検する必要はなくなります。また、従来通り登録検査又は定期検査の完了日を基準として4回目の年次検査の時期から定期検査を開始することができます。なお、定期検査の間隔が5年と改正されることにより、条約証書の有効期限との関連で、定期検査のdue dateを延期することはできなくなりますので御注意願います。

2. 中間検査

(1) 中間検査の時期

タンカー、液化ガスばら積船及び危険化学品ばら積船においては、登録検査又はそれ以降の各定期検査の完了日を、その他の船舶においては、第1回定期検査又はそれ以降の各定期検査の完了日をそれぞれ基準としてその後の2回目又は3回目の年次検査のいずれかの時期に行う旨改正されました。

この改正は、予定されている条約の改正を先取りした形で行われるもので、将来は条約の規定と一致するものですが、現行の条約とは若干のずれが生じてしまいます。即ち、従来は船種に応じて定められ、登録検査又は定期検査の完了日（液化ガスばら積船及び危険化学品ばら積船以外の船舶においては中間検査の適用の基準となる船齢自体も早められています。）を基準として、2年6ヶ月経過した日の前後6ヶ月間がdue range であり、条約で要求されている中間検査のdue range と一致していましたが、今回の改正により現行条約で要求される中間検査のdue range と船級で要求される中間検査のdue range との間にずれが生じることになります。従って、下図の②または④の時期に受検されると条約と船級の双方の中間検査を同時に完了することが出来ますので最も御便利と思います。



①：船級の中間検査しか実施出来ません。

（条約の中間検査は別途②，③，④の時期に実施する必要があります。）

②：船級及び条約の中間検査が同時に実施できます。

③：条約の中間検査しか実施出来ません。

（船級の中間検査は①，②の時期に完了していなければ④，⑤の時期に実施する必要があります。）

④：船級及び条約の中間検査が同時に実施できます。

⑤：船級の中間検査しか実施出来ません。

（この時点では条約の中間検査は②，③，④の時期に既に完了していなければなりません。）

(2) 中間検査の要件

(i) 船齢が5年を超え10年以下のすべての船舶に対して、代表的バラストタンクの内部一般現状検査が要求されます。

(ii) 船齢が10年を超えるすべての船舶に対して全バラストタンクの内部一般現状検査が要求されます。

上記(i), (ii)の結果、明らかな構造欠陥が認められる場合以外は、その検査は塗装の有効性を確認する程度の検査となります。

ただし、本会検査員により、塗装状態が悪いと認められたタンク及び無塗装タンクにつきましては、当該タンク(二重底を除く)の内部検査及び必要に応じて板厚計測が毎年要求されることとなります。

3. 適用

本改正規則は、1991年7月1日以降検査申込みのあった日本籍船舶以外の船舶に適用することと致します。

本件に関する検査の実施にあたり、不明な点がございましたら、弊会本部検査技術部までお問い合わせ下さい。

敬 具

添付：(1) "Amendments to the Rules for the Survey and Construction of Steel Ships (Part B)"

(2) "Amendments to the Guidance for the Survey and Construction of Steel Ships (Part B)"

(3) (1) 及び(2) の日本語訳

「英文鋼船規則」の一部を次のように改正する。

B編 船級検査

3章 定期的検査

3.2 定期的検査の間隔

3.2.4 を次のように改める。

3.2.4 中間検査

1. 中間検査は、次の(1)及び(2)の検査の完了日を基準として2回目又は3回目の年次検査の時期に行う。

(1) タンカー、液化ガスばら積船及び危険化学品ばら積船においては、船級登録検査又はそれ以降の各定期検査

(2) 前(1)以外の船舶においては、第1回定期検査又はそれ以降の各定期検査

3.2.5 定期検査

1. 及び2. を次のように改める。

1. 検査の間隔

定期検査は、5年の間隔で行う。即ち、第1回定期検査は、船舶の建造日又は船級登録の為の定期検査完了日から5年以内、それ以降は、前回の定期検査完了日から5年以内に完了しなければならない。

2. 定期検査の開始時期

定期検査は、4回目の年次検査の時期に開始し、5年目の期日までに完了するよう施行することができる。定期検査のための準備の一部として、板厚計測は、実行可能な限り4回目の年次検査の時期に行う。

3.3 船体の年次検査

3.3.1 年次検査の要件

1(14)として次を加える。

1(14) 船齢が5年を超える船舶において、二重底タンクを除く海水バラストタンクに、建造時より塗装が施されていない場合には、当該タンクの内部検査及び必要に応じて板厚計測を行う。

3.5 船体の中間検査

3.5.1 を次のように改める。

3.5.1 中間検査の要件

(1) 中間検査では、年次検査の全ての規定に従って検査を行う。

(2) 前(1)の規定に加えて、次の(a)及び(b)に規定する検査を行う。

(a) 船齢が5年を超え10年以下の全ての船舶

代表的海水バラストタンクの内部一般現状検査を行う。

(i) 検査の結果、明らかな構造欠陥が認められる場合以外は、その検査は塗装の有効性を確認するにとどめて差し支えない。

(ii) 検査の結果、著しい塗装落ち、腐食又はその他の損傷が認められた場合には、他の同様な海水バラストタンクの内部一般現状検査を行う。

(iii) 二重底タンクを除く海水バラストタンクにおいて、塗装状態が悪化し且つ再塗装されない場合には、当該区画の内部検査及び必要に応じて板厚計測を毎年行う。

(b) 船齢が10年を超える全ての船舶

全ての海水バラストタンクの内部一般現状検査を行う。

(i) 検査の結果、明らかな構造欠陥が認められる場合以外は、その検査は塗装の有効性を確認するにとどめて差し支えない。

(ii) 二重底タンクを除く海水バラストタンクにおいて、塗装状態が悪化し且つ再塗装されない場合には、当該区画の内部検査及び必要に応じて板厚計測を毎年行う。

(3) 前(1)及び(2)の規定に加えて、次の(a)から(d)に規定する検査を行う。

(a) 全てのタンカー

暴露甲板上の貨物油管、原油洗浄管、燃料油管、バラスト管、蒸気管及びベントマストと集合管を含むベント管の検査を行う。但し検査員が必要と認めた場合は、管系の圧力試験又は板厚計測若しくはその双方を実施する。

(b) 船齢が10年を超えるタンカー

(i) 実行可能な範囲で揚錨及び係船装置の検査を行う。アンカーは、ウインドラスを使用して部分的に揚げ降ろしを行う。

(ii) 少なくとも船首部及び船尾部からそれぞれ1個の貨物タンクの内部検査を行う。

(iii) 機関室及びボイラー室（内底板、ヒルズ及びコックファダム、海水取り入れ口及び船外排水口を含む。）の内部検査を行う。

(c) 船齢が10年を超える主として木材を運搬する船舶、ばら積運搬船及び鉱石運搬船

少なくとも船首部及び船尾部からそれぞれ1個の貨物倉の内部検査を行う。但し、貨物倉が2個のみの船舶においてはいずれか一方の貨物倉の内部検査を行う。

(d) 船齢が15年を超える前(b)及び(c)以外の船舶

少なくとも船首部及び船尾部からそれぞれ1個の貨物倉の内部検査を行う。但し、貨物倉が2個のみの船舶においてはいずれか一方の貨物倉の内部検査を行う。

3.6 船体の定期検査

3.6.1 第1回定期検査（船齢が5年以下の船舶）

1(4)及び2(1)の規定の末尾に次を加える。

二重底タンクを除く海水バラストタンクにおいて、塗装が悪化し且つ再塗装されない場合には、当該区画の内部検査及び必要に応じて板厚計測を毎年行う。

3.12 液化ガスばら積船及び危険化学品ばら積船の定期的検査

3.12.2 危険化学品ばら積船の定期的検査

2. 中間検査

(3) の規定中、「本編3.5.1(1)(b) 及び(e)」を「本編3.5.1(3)(b)(ii)」に改める。

「英文綱船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

B編 船級検査

B 3 定期的検査

B 3.2 定期的検査の間隔

B 3.2.3 船底検査の延期

(1) (d)を次のように改める。

(1) (d) 規則B編3.5.1(3) (c)又は(d)の規定により、貨物倉の内部検査が要求される場合には、当該貨物倉の内部検査。

B 3.5 船体の中間検査

B 3.5.1 中間検査の要件

従来規定に番号1.を付し、2.として次を加える。

2. 規則B編3.5.1(2) (a)の規定における「代表的海水バラストタンク」とは、船首タンク、船尾タンク及び貨物区域内の2個の深水タンクとする。

AMENDMENTS TO THE RULES FOR THE SURVEY AND CONSTRUCTION OF STEEL SHIPS

"Rules for the Survey and Construction of Steel Ships" were partly amended as follows;

Part B CLASS SURVEYS

Chapter 3 PERIODICAL SURVEYS

3.2 Intervals of Periodical Surveys

Paragraph 3.2.4 is amended as follows;

3.2.4 Intermediate Surveys

1 Intermediate Surveys are to be carried out on all ships instead of the second or third Annual Survey after completion of the following surveys;

- (1) Classification Survey and each subsequent Special Survey for Tankers, Ships carrying Liquefied Gases in Bulk and Ships carrying Dangerous Chemicals in Bulk
- (2) Special Survey No.1 and each subsequent Special Survey for Ships other than the above (1).

3.2.5 Special Surveys

Sub-paragraph 1 and 2 are amended as follows;

1 Survey Intervals

Special Surveys are to be carried out at 5-yearly intervals. The first Special Survey is to be completed within 5 years from the date of build or date of Special Survey for Classification and thereafter 5 years from the date of completion of the previous Special Survey.

2 Commencement of Special Surveys

The Special Survey may be commenced at the 4th Annual Survey after Classification Survey or previous Special Survey and be progressed during the succeeding year with a view to completion by the 5th anniversary date.

As part of the preparation for the Special Survey, the thickness determination should be dealt with, so far as practicable, in connection with the 4th Annual Survey.

3.3 Annual Surveys for Hull

3.3.1 Requirements for Annual Surveys

Sub-paragraph 1(14) is added as follows;

- 1(14) In the case of ships over 5 years of age, where a protective coating for spaces used for salt water ballast excluding double bottom tanks was not

applied from the time of construction, the spaces in question are to be internally examined and gauged as necessary.

3.5 Intermediate Surveys for Hull

Paragraph 3.5.1 is amended as follows;

3.5.1 Requirements for Intermediate Surveys

(1) At each Intermediate Survey, all the requirements for Annual Survey are to be complied with.

(2) In addition to the requirement in (1) above, the following requirements are to be complied with.

(a) All Ships over 5 years and up to 10 years of age

An internal general examination of representative spaces used for salt water ballast is to be carried out.

(i) If such inspections reveal no visible structural defects, the examination may be limited to a verification that the protective coatings remain efficient.

(ii) Where significant coating break down, corrosion or other defects are found, the examination is to be extended to other ballast spaces of the same type.

(iii) In spaces other than double bottom tanks, where a protective coating is found to have deteriorated and it is not renewed, maintenance of class is to be made subject to the spaces in question being internally examined and gauged as necessary at annual intervals.

(b) All Ships over 10 years of age

An internal general examination of all spaces used for salt water ballast is to be carried out.

(i) If such inspections reveal no visible structural defects, the examination may be limited to a verification that the protective coatings remain efficient.

(ii) In spaces other than double bottom tanks, where a protective coating is found to have deteriorated and it is not renewed, maintenance of class is to be made subject to the spaces in question being internally examined and gauged as necessary at annual intervals.

(3) In addition to the requirements in (1) and (2) above, the following requirements are also to be complied with.

(a) All Tankers

An examination of cargo, crude oil washing, bunker, ballast, steam and vent piping systems on weather decks as well as vent masts and headers is to be carried out. If upon examination there is any doubt as to the condition of the piping, the piping may be required to be pressure tested, gauged or both.

(b) Tankers over 10 years of age

(i) General examination of anchoring and mooring equipment is to be carried out as far as practicable. For this purpose the anchors should be partially lowered and raised using windlass.

(ii) An internal examination of at least one forward and one after cargo tanks is to be carried out.

(iii) An internal examination of machinery and boiler spaces including tank tops, bilges and cofferdams, sea suctions and overboards is to be carried out.

(c) Ships primarily carrying timber cargoes, Bulk Carriers and Ore Carriers over 10 years of age

An internal examination of at least one forward and one after cargo holds is to be carried out. For the ship which has only two cargo holds, either one cargo hold is to be examined.

(d) Ships over 15 years of age other than those mentioned in (b) and (c) above

An internal examination of at least one forward and one after cargo holds is to be carried out. For the ship which has only two cargo holds, either one cargo hold is to be examined.

3.6 Special Surveys for Hull

3.6.1 Special Survey No 1 (for ships up to 5 years old)

In paragraph 1. (4) and 2(1), the following is added to the end of the present provision.

"For spaces used for salt water ballast excluding double bottom tanks, where a protective coating is found to have deteriorated and it is not renewed, maintenance of class is to be made subject to the spaces in question being internally examined at annual intervals. Where extensive corrosion is found, thickness gauging is to be carried out."

3.12 Periodical Surveys of Ships carrying Liquefied Gases in Bulk and Ships carrying Dangerous Chemicals in Bulk

3.12.2 Periodical Surveys of Ships carrying Dangerous Chemicals in Bulk

2. Intermediate Survey

In sub-paragraph (3), the phrase "in 3.5.1(1)(b) and (e)" is amended to "in 3.5.1(3)(b)(ii)".

AMENDMENTS TO THE GUIDANCE FOR THE SURVEY AND CONSTRUCTION OF STEEL SHIPS

"Guidance for the Survey and Construction of Steel Ships" were partly amended as follows;

Part B CLASS SURVEYS

B 3 PERIODICAL SURVEYS

B 3.2 Intervals of Periodical Surveys

B 3.2.3 Extension of Docking Surveys

Sub-paragraph (1)(d) is amended as follows;

- (1)(d) Where internal examination is required according to 3.5.1(3)(c) or (d), Part B of the Rules, internal examination of holds in question.

B 3.5 Intermediate Surveys for Hull

B 3.5.1 Requirements for Intermediate Surveys

The present provision is numbered to 1, and following provision is newly added and numbered to 2.

2. The representative spaces used for salt water ballast referred to in 3.5.1(2)(a), Part B of the Rules, are to include at least fore peak tank, aft peak tank and two of deep tanks located within the length of cargo space.